

まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース

TOWN NEWS



◀ 黒毛和牛（経産牛）の部で大きな牛を引いて現れ、会場から注目を浴びた原和樹さんと菜摘ちゃん兄妹。

▶ 仔牛とふれあい、「指を入れるとチュウチュウと吸うよ〜!」「舌の感触が気持ちいい!」など、大喜びの児童たち。



自慢の牛たちが勢揃い

6/5 町営南勢牧場多目的広場

町営南勢牧場で畜産祭りが開催され、大切に育てられた自慢の牛70頭・馬3頭が発育や体形、骨格などを基準に、専門家によって審査されました。糠内小学校の児童21人が体験学習に訪れ、審査の様子を見学したり実際に仔牛に触れるなど、畜産についての知識を深めました。

役場ってどんなところ？

5/29 幕別町役場

幕別小学校の3年生33人が社会科見学で役場を訪れました。町職員の案内で1階から5階まで見学をした後は議場で質問タイム。「役場はどうしてこんなに広いの?」「引越しをする時はなぜ役場に行くの?」などたくさんの質問が飛び交いました。



▲左から 九本征一郎さん、岡田町長、浦田邦夫さん、九本榮一さん

晩成社縁の土地を寄贈

5/29 役場3階応接室

依田徳原地組合（浦田邦夫組合長、組合員数31人）から「途別水田碑」や「徳原地由来の碑」を含む依田地区の土地約1万6千㎡の土地が寄贈されました。浦田組合長は「晩成社の依田勉三氏が稲作を成功させた歴史的価値がある土地。後世へと伝えてほしい。」と話しました。

子どもに木のぬくもりを

5/30 さかえ保育所内子育て支援センター

幕別おもちゃの病院から、廃材を利用した手づくりの動く木のおもちゃ50数個が寄贈されました。郷孝男医師長(写真中央)は「子どもたちに手づくりのおもちゃのぬくもりを感じてもらいたい。」と笑顔を見せ、贈ったおもちゃについて子どもたちに説明をしました。



▲左から 飯田教育長、瀬上陽平さん、高橋智信さん

カラマツに触れてみて

6/6 幕別町図書館本館

瀬上陽平さん(瀬上製材所常務取締役)と高橋智信さん(ザ・本屋さん取締役)から十勝産カラマツの積み木「からっく」3セットが寄贈されました。お2人は「無垢の安心安全な積み木で遊んでもらい、カラマツがどんな木か知ってもらいたい」と想いを語りました。

料理って楽しいね!

6/11 子育て支援センターあおば分室

子育て講座「親子クッキング」が開かれ、11組の親子が参加しました。子育て支援ボランティア団体「すきやき隊」もお手伝いに加わり、親子同士で交流しながら楽しくパングラタンと野菜のつぶつぶポタージュを作りました。

※すきやき隊では随時ボランティアメンバーを募集しています。
(問い合わせ先：0155-56-3811 子育て支援センターあおば分室)



永遠の平和を願って

6/13 保健福祉センター

第二次世界大戦で亡くなられた町内277人の戦没者の方々を追悼し、平和を祈念する戦没者追悼式が行われました。岡田町長は「平和と命の大切さ、美しい郷土をしっかりと後世へ伝えていく」と式辞を述べ、遺族や関係者ら68人が白菊を献花し、冥福と平和を祈りました。

とれたて野菜をパクッ

6/12・13 小笠原農場（南勢）

兵庫県立豊岡総合高校2年生39名が修学旅行で町を訪れ、「農村ホームステイ」として15の農業者宅に1泊し、農業を体験しました。小笠原保さん宅にお世話になった田中京佳さん(写真左)と仲川愛美さん(写真右)はレタスやイチゴなどを収穫し、採れたての新鮮な味を味わいました。



▲左上から 飯田教育長、指導者の高道昭夫さん
左下から 川西美咲さん、木村百華さん

全道大会に連続出場

6/18 教育委員会

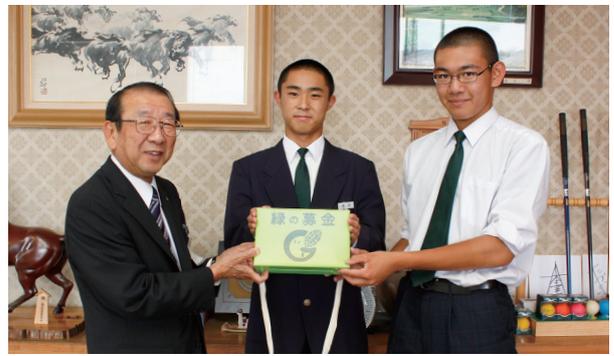
第15回北海道小学生ABCバドミントン大会に出場する川西美咲さん(幕小4年)と木村百華さん(札内南小3年)が教育委員会を表敬訪問しました。川西さんは3年連続、木村さんは2年連続で同大会に出場しており、「去年よりも一勝でも多く勝ち進みたい。」と目標を語りました。

緑の募金集まりました

6/19 役場3階町長室

4月から5月末にかけて幕別中学校で集められた「緑の募金」6,140円が町に寄附されました。

この募金は同校の生徒会が中心となって生徒に呼びかけ、集められたものです。生徒会会長のきのしたふみと木下文人さんは「まちの緑化のために来年も後輩たちに活動してもらいたい」と語りました。



▲左から 岡田町長、幕別中学校生徒会の酒井信貴さん、木下文人さん



▲左から 岡田町長、平澤和義さん、平澤さつえさん

100歳のお誕生日

6/20 帯広協会病院

平成26年6月20日で満100歳を迎えられた平澤さつえさんを祝う会が開かれました。

ご家族や親戚が集まり、岡田町長から記念品を手渡された平澤さんは「ありがとう」と応えてくれました。平澤さんは編み物がお得意で、よく靴下を編んでプレゼントをしていたそうです。

動物とふれあい、笑顔

5/28 忠類農協倉庫前

忠類農協青年部による、仔牛やポニー、モモちゃん馬車などの動物を集めたイベント「子供動物ふれあい広場」が開かれました。

忠類保育所の園児40人が訪れ、園児たちは仔牛にミルクをあげたり、ポニーに乗るなど、可愛い動物たちとのふれあいを楽しみました。



元気よく駆け出して

5/28 晩成牧場、中当第2牧場、共栄牧場

28日からこれまで、忠類地区の町営牧場3ヶ所で乳牛・肉牛合計380頭が入牧しました。

トラックから元気よく駆け出した牛たちは大草原の牧場へ。放牧が終わる10月中旬頃までのびのびと過ごし、元の農家へ帰る時には見違えるほどにたくましく育ちます。

まちを花でいっぱい

6/4 国道236号線歩道ほか

幕別町づくりのまち推進委員会が毎年行っている「花いっぱい運動」の活動の一環として、ベゴニアやキンギョソウなど約4,000本の花が忠類地域に植えられました。忠類中学校近くでは同校の2年生も一緒に植栽を行い、総勢約100人でまちの景色を彩りました。



いつか来る時のために

6/4 忠類コミュニティセンター

ボランティアグループ「シンク」が、行政書士、司法書士のこばやしかずのぶ小林千修氏を招き「相続と遺言」についての勉強会を開催しました。残される家族のためにどんな準備が必要なのか、また、家族が亡くなったときはまずは何をすべきのかなど、実際の事例を交えながら学びました。